

# コミュニケーション

2004・JULY

7

No.66

OMORIYAMA  
**ZOO**  
**NEWS**



ツキノワグマ

画：佐藤一男



秋田市大森山動物園  
Akita Omoriyama Zoo

# HOT INFORMATION

## ほっといんぷおめーしょん

### 「ふたごの赤ちゃんクマ」がデビュー！



2月末に生まれたツキノワグマのふたごの赤ちゃん「もえぎ」と「わかば」が、5/28展示場デビューを果たしました。好奇心旺盛な2頭は早速あちこちを探検し始め、水たまりに入ったり、お母さんの真似をしてフェンスによじ登ったりとやんちゃ盛りです。

### 新しい仲間たち ダイアナモンキー

福岡市動植物園よりオス1頭、札幌市円山動物園よりメス1頭がやってきました。野生では数が激減している希少種です。当園では過去に数回繁殖に成功している種ですが、ここ数年間は26歳の高齢メス1頭のみでの飼育となっていました。この新しいペアで繁殖に向け頑張ります。



### オオハクチョウ・コハクチョウ



はるか北の大地から秋田に飛来してきた後、残念ながらケガのため保護され、秋田県鳥獣保護センターで療養していたオオハクチョウ6羽とコハクチョウ4羽が、5/19大森山動物園にやってきました。彼らは治療を受け命に別状は無いものの、野生復帰させることができなかった個体です。今後は当園の仲間として末永く市民に愛され、活躍してくれる存在となるよう願っています。

はるか北の大地から秋田に飛来してきた後、残念ながらケガのため保護され、秋田県鳥獣保護センターで療養していたオオハクチョウ6羽とコハクチョウ4羽が、5/19大森山動物園にやってきました。彼らは治療を受け命に別状は無いものの、野生復帰させることができなかった個体です。今後は当園の仲間として末永く市民に愛され、活躍してくれる存在となるよう願っています。

### すっきり爽快！？



5月の上旬にヒツジ全頭の毛刈りを行いました。暑い夏を乗りきるための恒例行事で、毎年実施されています。



ヒツジは意外にも、毛刈りの最中はおとなしくじっとしていて、その様子はまるで「床屋さんとお客さん」のようです。お客さんの要望に応えるべく、床屋さんの腕前も毎年レベルアップしています。

### スタックスの種まき



6/10毎年環境体験学習の一環で実施している「スタックス（飼料作物）の種まき」を、秋田市立浜田小

学校3年生児童との共同作業で行いました。動物たちの糞を堆肥として利用した約800㎡の畑を使用しています。順調に生育すれば、7月中旬と9月中旬の2回に分け児童とともに収穫を行い、動物（主にアフリカゾウ）に餌として与えられます。

### 「動物園長の気ままなお散歩ガイド」開催中！

大森山動物園小松園長がみなさんにお声をかけてお話ししたり、質問に答えたりする「動物園長の気ままなお散歩ガイド」が始まりました。第2・第4日曜日の午前10時～正午まで



の間園内を回っています。お時間に余裕がある方は是非「お気軽に」声を掛けて下さい。魅力的な小道具を持って回っているので、面白い話が聞けますよ。※都合により中止させていただく場合があります。

何卒ご了承ください。

# 夏の3大行事ご案内

## 初開催

### 動物たちの ディナータイム

3日間だけ閉園時間を19時まで延ばします。

夕涼みしながら動物が食事をする様子を覗いて見ませんか？

- 7/24 (土)
- 7/31 (土)
- 8/7 (土)

※最終日にはイブニングコンサートも開催されます。



▲ライオンの食事風景

## 恒例

### 親と子のふれあい 写生大会



▲この日はトラさんもモデルに

7/27 (火)

今年で27回目。

受付：午前8時30分から正午まで

※雨天中止の場合7月29日に順延

夏休みの課題作りにぴったりですよ！

## 大人気

### ナイト・ズー (夜の動物園)

普段見ることができない動物たちの夜の生態をご覧ください。毎年お盆の夜に開催されている大人気企画です。



▲ライトアップされた幻想的なサル山

近年は「夏の風物詩」として広く定着してきました。

8/14 (土) 15 (日) 17時30分～21時

※一度16時30分で閉園いたします。

## 大好評

### 動物園年間パスポート (大森山動物園年間使用券)



購入日から「丸一年間」何度でも入園できます。

(例：H16年8月14日購入者は、H17年8月13日まで)

動物が大好きな方はもちろん、写真撮影や自然豊かな園内での散歩など、「いろいろな楽しみ方」のお供に是非ご利用下さい。

料金：一枚 1,200円(通常の入園料は一回500円です。)

動物園正面ゲート受付にて発売中

◎ナイト・ズー(夜の動物園)でも使用できます！

※冬季休園期間(H16. 11/24日～H17. 3/18)は利用できません

## ご期待下さい！

### 「新」大森山動物園ガイドブック まもなく販売開始！

表紙以外モノクロだった初代ガイドブック(一部150円)を一新！今回は「フルカラー」(一部300円)で現在製作中です。

販売開始は7月中旬を予定しています。

## 目次

表紙 ツキノワグマ	1
ホットインフォメーション	2～3
特集フンボルトペンギンの繁殖	4～6
飼育レポート、動物病院から	6
飼育日誌・後記	7
かたばた通信	8

# 特集

## フンボルトペンギンの繁殖成功に至るまで



### フンボルトペンギンについて

分類：ペンギン目、ペンギン科

分布：南米ペルー、チリ沿岸部（フンボルト海流が流れる地域）

特徴：体長67～72cm体重約4kg

比較的暑さに強いいため、世界中で最も多く飼育されている種ですが、野生では絶滅の危機にあります。

飼育展示担当 鈴木昌典

### 大森山動物園での飼育・繁殖の経緯

大森山動物園では開園当初から約31年間飼育しています。H9年に新設された広い展示舎（ふれあいランド内）に移転するまでは、現在のビーバー舎で飼育されていました。（写真1）この施設はペンギンにとって手狭な環境だったため、繁殖に至らない理由の一つとして挙げられていました。（旧施設での成功例はS58年の人工育雛1例）しかしながら、ハード面で大きく環境が改善されたH9年以降も、成功例はH12年の人工育雛1例のみ、さらにはH10年、H14年と同時期に複数羽が死亡するなど、早急な飼育改善が求められていました。



▲写真1：H9年以前のペンギン舎（現ビーバー舎）

そんな状況の中、H15年度からペンギン担当となった私は、飼育展示担当の先輩や獣医と相談しながら、「栄養面」、「環境面」の改善をいくつか実行することに決めました。

### 餌の改善

初めに取り組んだのは餌として使用している冷凍アジの品質向上のため、解凍方法をこれまでの「流水解凍」から「自然解凍」に変更しました。次に、栄養面の改善として、アジの「えら」に入れる手法でビタミン剤の投与を開始、さらには他の動物園で実施されている塩、ミネラル塩をアジにまぶして与えることにしました。



▲写真2：ハンドフィーディングによる給餌

また、餌の与え方もこれまでのプールに投げ入れていた方法から、ハンドフィーディング（写真2）に変更し、1羽ずつ確認しながら全ての個体が確実に食べられるようにしました。

### 環境の改善

栄養改善と並行して環境改善も行いました。夏の暑くなる時期に死亡例が多いことから、少しでも陸上の暑さを和らげられればとの思いで、竹に穴をあけて作った「バンブーシャワー」（写真3）を設置しました。これには涼しさの提供だけではなく、ペンギンの糞などの汚れを取り易くするという衛生面での二次的な効果もあり、製作時の期待をはるかに上回る「名作」となりました。



▲写真3：バンブーシャワーで涼むペンギンたち

また、繁殖面では、産卵前、そして産卵後の育雛(いくすう)に使用する巣の入口を狭くし、(写真4)より落ち着いてヒナを育てられるような巣穴に改良しました。



▲写真4：目隠しされた巣の入口

## 新規個体の導入

H14年に複数羽死亡したことにより個体数が減少していましたが、秋田県男鹿水族館から3羽、東京都葛西臨海水族園から4羽、豊橋市豊橋総合動植物公園から2羽、愛知県の南知多ビーチランドから2羽、合計11羽のペンギンを各園の多大なるご厚意によりお譲り頂き、いよいよ大森山動物園でフンボルトペンギンを自然繁殖させる「体制は」整いました。

## 初めての自然繁殖

様々な改善を加え、新規個体の導入も行いましたが、当園が今まで自然繁殖に成功したことがないという事実は、私にプレッシャーという形で大きくのしかかっていました。

そんな中、平成15年8月12日、公休日だった私の携帯に一通のメールが届きました。内容は忘れもしません。一文のみで「ペンギンにヒナ誕生！」でした。

さらに翌日には2つ目の卵も無事ふ化に成功しました。この喜びは親ペンギンにも伝わったのか、その後の観察からは2羽のヒナを大事そうにオス、メス交代で温める姿や、餌を食べさせている姿も確認されました。(写真5)しかしながら喜んでばかりもいられません。この「一例」では、目標である「順調かつ定期的な繁殖」とは言えないからです。次のステップとして求められたのは違うペアでの自然繁殖成功でした。

## 2例目の自然繁殖に成功

そしてついにその時がやってきました。1例目と別のペアが平成15年12月15日、17日と自然繁殖による2羽のふ化に成功、また別のペアも12月28日に1羽のふ化に成功したのです。さらには今年になっても好状況を持続し、5月29日、31日と2羽がふ化し、6月14日現在その2羽が順調に生育していることを確認しています。



▲写真5：ヒナを大事そうに温める親ペンギン

「順調かつ定期的な繁殖」に向け走り続けて1年が過ぎた今になって、ようやく私は大きなプレッシャーから放たれ、「安堵のため息」をつくことができた気がします。

## 最後に

これらの自然繁殖成功例から「栄養面、環境面の改善が実を結びました。」と言いたいところではありますが、いくつかの改善の内「何が良かったのか」ははっきりとした理由は分かっていません。しかし、担当になって1年ちょっとの私にも一つははっきりと分かったことがあります。それは、「生息地」での生活環境を理解し、その中から「飼育下」との違いを見つけ、最大限両者の差を少なくすることが、ペンギンだけではなく、同じように本来の生息地からかけ離れた環境で暮らしている動物園の動物たちのためになるということ。

これからも遊びに来てくださったお客様に、元気いっぱいプールを「飛び回る!？」ペンギンを見てもらえるよう、さらなる努力と研究を重ねていきたいと思えます。

# ライオンの同居作戦。そして…

『大森山動物園では3頭のライオンを飼育していました』 「王者の森の主」という異名を持ち、長年大森山動物園で活躍してきたメスのミカ(19才)と、昨年6月26日に東京都多摩動物公園からやってきたメスのララ(3才)、オスのカズ(2才)です。しかし、ライオンは「プライド」と呼ばれる群れを作り、それぞれのプライドによって縄張りを持っています。そのため、同じライオンとはいっても別の環境で暮らしてきた個体を簡単に同時展示することは難しく、この3頭のライオンを一度に見せることはできませんでした。時折、お客様の「2頭しかいないよ…」という声を耳にすることも。

ララとカズが訪れて1年になるうとしていた5月17日、いよいよメス同士のミカとララを同居させてみるようになりました。2頭はこれまで相手の姿を見ることはなくても、寝室内では「壁を隔てた隣人」だったので、声や臭いで十分にお互いを感じていたはずですが、私たちはドキドキしながらその様子を伺っていました。2頭を同時に展示場へ、直ぐに顔を向き合わせて互いの匂いを嗅ぎあっていましたが、その後は一定の距離を保ちリラックスした様子を見せてくれました。一同が心からホッとした瞬間でした。数日後の5月26日、今度はオスのカズとミカとの同居です。好奇心旺盛な若いカズは外に出ると直ぐ、ミカに歩み寄って行きましたが、ミカに軽く威嚇されると、体がガチガチになっていました。まさにミカの貫禄勝ちです。そしてその日の午後、約1年間同じ建物内ですれ違いの生活をしてきた「3頭」の同居に成功しました。「ここで、この飼育レポートは終わるはずだったのに…」

しかし、私たちが安心して始めた6月10日。園内に激震が走ったのです。ミカはカズとのトラブルが原因で深い傷を負ってしまい16:30頃に息を引き取りました。「頸部咬傷、頸椎骨折」が死因でした。突然の悲劇に、「何故」という言葉しか浮かんできません。「王者の森の主」と呼ばれたその貫禄、彼女の誇りを思うと駆けつけた職員は皆、直視できずに立ちすくんでしまいました。天国では「王者の森以上の大きなプライド」の中で、主(ぬし)としてゆっくりとくつろいで欲しいと願います。長い間本当にお疲れさま。



## 動物病院から

# うまいものには毒がある

飼育展示担当(獣医師) 高橋 広志

ある日の夕方、外に展示していた「チンパンジー3人」をいつものように寝室内に収容したところ、ふだんはまっ先に餌に飛びつく“食いしん坊”のユミノスケとミユキが、大好きなバナナにも手をつけず元気がありません。不審に思って展示場を調べてみると、いたるところに下痢便や吐いた跡があって、どうも何か変なものを食べて胃腸をこわした様子です。「お客さんからお菓子でももらったかな?」とも思いましたが、それにしては症状があまりに重く、特にミユキの方はグッタリと横になって目つきもうつろです。

「これはただの下痢じゃないな」と思い、もう一度展示場をよく観察してみると、便や吐き跡の中に木クズのようなものがたくさん見え、前日に遊具として設置した丸太の樹皮がはがれ、歯形がたくさん付いているのが分かりました。どうやら、丸太の皮を食べて「食中毒」になってしまったようです。後で分かったことですが、この丸太はニセアカシヤという木で樹皮にロピチンという毒が含まれ、食べると時には死に至ることもあるそうです。この時は、食べた量が少なかったからか、2人とも次の日には元気に回復してホッと一安心。それからというものさすがの食いしん坊2人も、この丸太の皮には見向きもしなくなりました。それにしても、同じ日に展示していた3人のなかでしっかり者のノリコだけは体調も食欲もくずさず、樹皮をまったく口にしていなかったようです。ノリコ、君は長生きするよ!

# 飼育日誌より

04.3.2~04.6.10

- 3/7 ♣ フクロウ：1個採卵（第1卵目）。  
 3/8 ♣/☀ エボシキジ：脚環赤のみ、死亡。  
 ノドジロオマキザル チャールズみとナナエ♀  
 が交尾しているのを確認。  
 3/11 ♣ ビーバー：朝、出産していた（2頭）。  
 カンガルー：パサージュ♀、午後に負傷部分  
 （頭部）を手術。  
 3/12 ☀ キジ舎：エボシキジの部屋にフクロウを同居さ  
 せる（ネズミ対策）。  
 ワシミミズク：数は不明だが、孵化する。  
 3/14 ☀ ニホンリス：昨年来た盛岡からの個体と当園の  
 個体のお見合い開始。  
 ワシミミズク：ヒナ2羽を確認。  
 3/15 ☀ ベンガルトラ：トラジロウみ、死亡。  
 3/17 ☀ ペンギン：室内No.1のヒナ(左黄)がブル  
 ルで泳いでいた。  
 3/18 ♣ チンチラ：♂、♀、計2頭を展示のため、ふ  
 れあいに移動。  
 ビルマニシキヘビ：♂1頭を購入により搬入  
 (B/W50. 46kg)。  
 3/19 ☀ ワシミミズク：最後の1羽が孵化していた(計  
 3羽)。  
 3/23 ☀ ワオキツネザル：午後出産確認。  
 3/25 ☀ ビーバー：3月11日生まれの子、朝死亡して  
 いた(みの部屋に入ったため咬傷)。  
 3/30 ♣/☀ サンショクキムネオオハシ：1羽、新規搬入  
 によりオオハシ舎に移動(B/W340g)。  
 4/1 ☀ F.ケージ：ハワイガン展示のために放鳥。  
 4/3 ☀/☀ ワピチ：♂1、♀1がP.M.4:00に無事搬入。  
 4/7 ☀ アフリカヤマアラシ：午後1:30頃、マウン  
 ト確認。  
 ソウ11時~12時30分の間に10回ほどマウント  
 を確認。  
 4/9 ☀ マーモセット：仔1頭が午前中に床に落ちて  
 いるのを発見。病院に収容のち、死亡。残る  
 1頭、育児放棄のため人工哺育にする。  
 4/10 ☀ ワピチ：水交換時に突進を受けそうになった。  
 ホンドフクロウ：4月8日の晩~9日の朝ま  
 でに2羽が孵化する。  
 4/11 ☀ クロツル：♂、折損嘴とれていた。  
 4/16 ☀ ニホンザル：1頭目、出産確認する。  
 ホルスタイン：♀1、搬入。  
 4/18 ☀ ビーバー：♀、過長前歯を切る。  
 4/19 ♣ ミニブタ：2頭、削蹄。  
 4/25 ☀ ハワイガン：5羽行方不明(食害されたとき  
 られる)。  
 5/3 ♣ ヤマネコ：1頭出産確認。巣箱を取り付けた  
 もの、咬み殺される。  
 5/5 ☀ ラクダ：み、鼻の下より膿がでている。  
 ワオキツネザル：赤ちゃん生まれる。  
 5/6 ☀ エボシキジ：予備舎から♀を同居させたが、  
 夕方元々いた♀が攻撃し、重傷を負い病院へ。  
 エボシキジ：昨日負傷個体午後に死亡。  
 5/7 ☀ ヒツジ：今年度の毛刈り全頭終了。  
 5/10 ☀/♣ フラミンゴ：ペアが成立してきているのを確認。  
 5/13 ☀ シュバシコウ：2羽の孵化を確認。  
 ふれあい：コールドック・ウコッケイの展示開始。  
 5/17 ☀ サル山：今年、2頭目の赤ちゃん確認。  
 シュバシコウ：手前の巣、ヒナがいなくなっ  
 ていた(カラスによる食害と思われる)。  
 ライオン：♀ミカと♀ララのお見合い。特別  
 問題なし。  
 5/19 ☀ サル山：今年、3頭目の赤ちゃんを確認。  
 5/23 ☀ チンパンジー：ミユキとユミノスケが遊具の  
 ニセアカシアの皮を食べて中毒を起こした。  
 5/27 ☀ ツキノワグマ：仔2頭、午後1:00すぎ展示  
 場デビュー。  
 5/29 ☀ ペンギン：B巣、1つ目の卵が孵化する(パ  
 ア知多No.39、右黒)。  
 ポリピアリスザル：♀1、流産。右手を骨折  
 していたため治療、ギブスをして入院。  
 5/31 ☀ ペンギン：B巣、2つ目の卵の孵化を確認。  
 6/5 ☀ ニジキジ：♀、木とフェンスの間に挟まって  
 事故死。  
 ワオキツネザル：仔、隣りの群から攻撃を受  
 け、病院に入院。左腕をもぎ取られてしまった。  
 6/7 ☀ ホンドザル：今年5頭目の出産(♂)。親がひ  
 きずっていたため捕獲し人工保育開始。  
 クジャク：右青(♂)、午前中に死亡。  
 6/10 ☀/☀ 牧草の種まき：秋田市立浜田小学校3年生児  
 童とともに、スダックス(牧草)の種まき  
 ライオン：♀ミカ、納舎時に♂カズによって  
 頸部咬傷、頸椎骨折で死亡。

## 飼育動物数

	種 類	点 数
哺乳類	59	317
鳥 類	56	213
爬虫類	10	37
両性類	0	0
魚 類	3	8
合 計	128	575

(平成16年6月末現在)

## 編 集 後 記

皆様お気づきでしたでしょうか。今回の66号から、より魅力的な情報を提供  
 できるようカラーページを1ページ増やしました(ほっといんふおめーしょん)。  
 また、ひそかに編集担当も新しくなっていますが、いかがだったでしょうか？  
 これからもお客様の目線にたった紙面作りを心掛け頑張りますので、よろし  
 くお願いいたします。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

— 柴田典弘 —

# かたばた通信

## 動物園にお花を！ガーデンボランティアさん集合

6月13日(日)



写真：ガーデンボランティアのみなさんと小松園長

クジャク舎横は昨年から、ガーデンボランティアさんの心のこもった庭づくりのおかげでいつも柔らかい雰囲気になっています。先日、さわやかな青空のもと、親睦も兼ねながらガーデンボランティアさんと動物園とのおしゃべりタイムがもたれました。みなさんからは市民の財産である大森山動物園をより良くしていくための貴重なご意見を頂きました。

こんにちは

ワピチ

今年の4月に北海道旭川市の旭山動物園からやってきた新人の「ワピチ」です。

よく、みんなに「大きい！」って言われるけど、実は僕が2才でメスは3才。まだ成長途中なんです。正直、体も角もまだ大きくなるので、一度会いに来てくれた人も、後でもう一回見に来てね。

僕らは寒いのは全然平気、でも…秋田の夏は暑いと聞いているので、これからの時期ちょっとだけ心配だけど、2頭で力を合わせてがんばるので応援してね。

